次期鈴鹿市総合計画の構成等

●策定の基本的な考え方(総合計画2023の継承と発展)

- ▶ 2023(令和5)年度までを計画期間とした「鈴鹿市総合計画2023」では、総合計画を中心としたトータルマネジメントシステムを導入した上で、住民主体で行う地域づくりの推進体制の構築をはじめ、人口20万人都市の維持を目標に、各種施策を展開し、『みんなに愛され 選ばれるまち』を目指して取り組んできました。
- ▶ 本計画では、これらの取組を継承・発展させるため、次の4つの大きな方向性を示した上で、市民・行政を含め、地域づくり協議会や企業、NPO、住民団体などの様々な主体が共有し、それぞれがまちづくりを進める上での活動指針となる計画として策定します。
 - ■「人口減少対策」「デジタル化」を前面に打ち出した計画 人口減少対策の方向性を示します。また、本市の魅力や行政サービスの更なる向上 と地域課題の解決につなげるためのDXに向けた取組を明確にします。
 - ■持続可能なまちづくりに向けた計画

SDGsとの関係性を明確にします。SDGsの目指す「だれ一人取り残さない」 社会を実現するため、持続可能なまちづくりの実現に向けた計画にします。

■市民とビジョンを共有し、みんなで「協働」する計画

総合計画2023で培った地域力がさらに発展し、一緒に協働のまちづくりに取り組んでいけるよう、市民との共通目標としての「ビジョン」を明らかにした計画にします。

また、鈴鹿市まちづくり基本条例及び鈴鹿市協働推進指針に基づき、「協働」の進め方を示します。

■結果が反映され、重点的な取組を見える化・魅せる化した計画 市民の満足度を測り、その結果を計画に反映します。 また、重点的に取り組む内容を明確にします。

●次期鈴鹿市総合計画の構成(案)

第1層 基本構想 2024~2031 年度(8年間)

将来都市像

全体指標:鈴鹿市に住み続けたいと思う市民の割合

■分野別ビジョン

6つのビジョン

- 主な分野ごとにビジョンを示す
- 子育て・教育・文化・スポーツ分野
- 健康・福祉分野
- 防災・消防・交通安全・防犯分野
- 環境・都市基盤分野
- 産業分野
- 人権・地域づくり・行財政分野

- ■目指す都市空間
- ■計画の推進のために
 - →人口減少対策の方向性
 - ⇒SDGsとの関係性
 - ⇒「協働」の進め方
 - ●分野別ビジョン1

みんなの目標(分野別指標)

1–1

1-2 1-3...

×上記6分野

※

<u>※みんなの目標(分野別指標)</u>は、満足度調査で

評価し、市民の意向を計画に反映

第2層 基本計画

(行政経営計画)

前期 2024~2027 年度(4年間) 後期 2028~2031 年度(4年間)

※各基本施策に「成果指標」を設定

第3層 実行計画

毎年見直し改訂 (原則4年)

※各事務事業に「活動指標」を設定